Press Release

2016 年 10 年 11 日

第 5 回筑波山植樹祭を開催

- 筑波山の緑化再生活動を支援 -

アステラス製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：畑中 好彦、以下「アステラス製薬」）は、社会貢献活動を通じた生物多様性への対応の一環として、筑波山に約 600 苗の植樹を行う第 5 回植樹祭を行いましたのでお知らせします。10 月 8 日、9 日にかけて行われた植樹祭には、アステラスグループの社員及びその家族ボランティア、一部の患者団体からのボランティア参加者など、延べ 100 名以上が参加しました。

なお、今回植樹した約 600 苗の中には、アステラスのグループ会社であるアステラス総合教育研究所株式会社（以下「アステラス総合教育研究所」）のグリーンサプライ支援室*で働く社員が、つくば研究センターの敷地で採取したどんぐりから育てた約 100 苗も含まれています。



アステラス製薬は CSR 経営の一環として、患者会活動を支援するスターライトパートナー活動など、病気と闘う患者さんへの貢献に繋がるさまざまな社会貢献活動を行うとともに、CO_2 排出削減や地域緑化などの環境保全活動にも積極的に取り組んでいます。

アステラス製薬は、筑波山のあるつくば市に研究拠点を構え、革新的な新薬の創製を目指し研究活動を行っています。荒廃が進む筑波山の森林再生活動に長年取り組んできた筑波山神社や複数の団体の活動に賛同して開始した本植樹祭は、今年で 5 回目となります。この活動が筑波山の生態系回復の一助となることを期待しています。

*グリーンサプライ支援室

アステラス製薬は、障がいのある方々が活躍できる場を提供すること、自立した日常生活や社会生活を営むことができる社会を実現することを社会的責任のひとつと考えています。その考えのもと、アステラス総合教育研究所内に同支援室を設置しています。

以上

アステラス製薬について

アステラス製薬株式会社（http://www.astellas.com/jp/）は、東京に本社を置き、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げる製薬企業です。既存の重点疾患領域である泌尿器、がん、免疫科学、腎疾患、神経科学に加えて、新たな疾患領域への参入や新技術・新治療手段を活用した創薬研究にも取り組んでいます。さらには各種医療・ヘルスケア事業との融合による新たな価値創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。

お問い合わせ先：

アステラス製薬株式会社
広報部
TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473